

NMS コミュニケーションズ

通信キャリアのニーズを満たす  
映像・音声アプリ開発ソリューション

NMS コミュニケーションズが今年市場に投入する Vision シリーズは、ベンダー自身がハードとソフトを統合して提供する新しいタイプの IMS ソリューションである。

開発期間の大幅な短縮を実現するだけでなく、高い信頼性、処理能力、既存ネットワークのサポートなど通信キャリアのニーズを高レベルで満たすこの製品は、移動通信事業者の新サービス開発を支える強力なツールとなりそうだ。

ネットワークの IP 化の進展にともない、世界の通信事業者の間で IMS (IP Multimedia Subsystem) と呼ばれる一連の新技术への関心が高まっている。これは、IP ネットワーク上でマルチメディアサービスを実現するシステム。サービス開発に従来の通信業界固有のアーキテクチャではなく IP ベースの標準技術を用いることで、開発期間の短縮と開発コストの大幅な削減を実現しようとするアプローチである。最近では、固定通信と移動通信の融合サービス (FMC: Fixed-Mobile Convergence) を実現するためのコア技術としても注目を集めるようになってきた。

世界のネットワークソリューションベンダーの多くが IMS 関連商品の展開に力を入れているが、その中でも非常にユニークな存在といえるのが、米 NMS コミュニケーションズが今年第 4 四半期までに製品のリリースを予定している「Vision シリーズ」。



NMS コミュニケーションズ VP&GM Asia クリッツ・チャン氏

ハードとソフトを統合して提供

NMS コミュニケーションズは、IVR (音声自動応答装置) などの音声アプリケーションやモバイル分野に強みを持つ。メディア処理ボードなどのハードウェア製品やソフトウェア製品を通信機メーカーや SI 会社などのパートナーに提供。パートナーが、これらの製品をサーバー上に実装したり、アプリケーションを開発し、キャリアやサービスプロバイダーに提供するという形でビジネスを展開している。

Vision シリーズは、これらのハード製品やソフトウェアを NMS コミュニケーションズ自身がサーバー上に実装し、機能別のコンポーネントの形で提供するもの。具体的には以下の 5 つの製品群によって構成されている。

メディア処理を行う「Vision Media Server」  
音声アプリケーションの開発を効率化する「Vision VoiceXML Server」  
IP 網と 3G 網の間で映像伝送プロトコルを変換する「Vision Video Gateway」  
携帯電話の機種別に映像フォーマットの変換を行う「Vision Video Transcoder」  
SS7 をサポートし、PSTN/ISDN と IMS を接続する「Vision Signaling Server」

パートナーは、これらのコンポーネント同士や他の機器を組み合わせ、ネットワーク・オペレーターの希望するシステムを開発する。Vision シリーズ製品の動作や接続性は NMS コミュニケーションズによって確認されており、さらにパフォーマンスも明らかになっているため、パートナーはシステム開発に専念でき、開発期間を大幅に短縮できるという。

この種の製品では、ベンダーはソフトウェアのみを提供し、ハードウェアの選定や実装は SI 会社に委ねる形が一般的であるだけに、Vision シリーズのアプローチは、通信アプリケーションの開発に大きな変革をもたらすものといえるだろう。

他社のエンジンとも容易に連携

Vision シリーズの多くは既存の NMS コミュニケーションズのソリューションをコンポーネント化したものだが、今回新分野のソリューションとしてラインナップに加わったのが、Vision VoiceXML Server である。

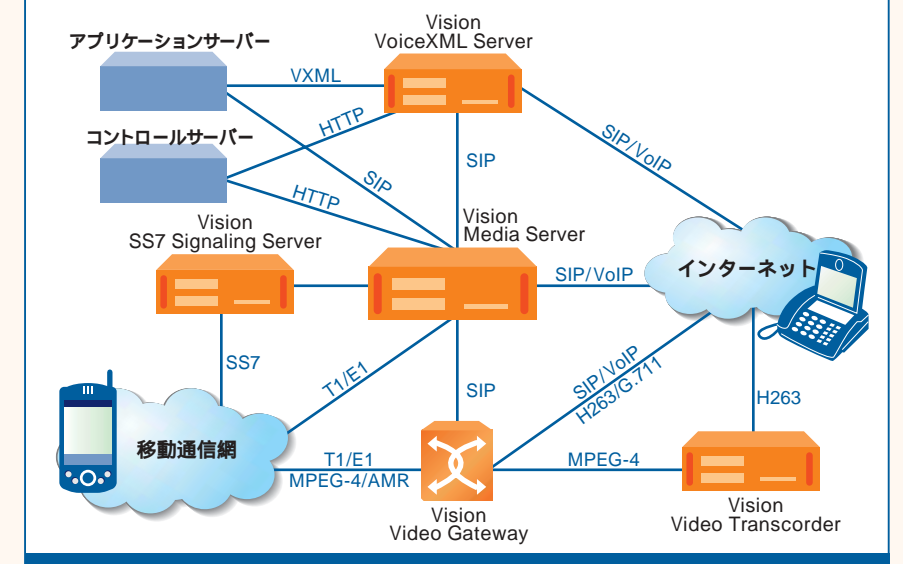
この Vision Media Server と同様にメディア処理を担当する製品だが、音声処理が実現できるように XML を拡張した VoiceXML 2.0 を使って容易にアプリケーションを開発できる点が大きな特徴となっている。また VoiceXML をサポートする他社の音声認識エンジンなども容易に連携できる。

Vision VoiceXML Server 自体もメディア処理機能を搭載しているが、ある程度規模の大きなシステムでは、メディア処理を Vision Media Server に委ね、Vision VoiceXML Server により SIP で呼制御する形がとられるケースが多い。Vision VoiceXML Server は、いわばシ



Vision VoiceXML Server

図 2 Vision family で構築した 3G 携帯対応の TV 会議システムの例



ステムの司令塔的な役割を担う製品といえる。

すでに、欧州の有力通信機器メーカーが Vision VoiceXML Server を用いて、携帯電話と内線の IP 電話をシームレスに運用する「モバイルセントレックス」システムの開発を進めており、5 月には提供を開始するという。開発に要した期間は約 8 週間。この種のシステムの開発には通常 3 か月かかるといわれているから、ほぼ 3 分の 2 に短縮されたことになる。

通信キャリアにフォーカス

もう一つ Vision シリーズに共通する大きな特徴といえるのが、通信キャリアを強く意識した製品作りが行われていることだ。ラインナップもサービスプロバイダーを対象とした 2000 シリーズに加えて、通信キャリアを対象とした 5000 シリーズがリリースされる。ここからも Vision シリーズの主要ターゲットが世界の通信事業者の間で導入機運が高まっている IMS マーケットにあることが見て取れる。

こうした傾向は NMS コミュニケーションズの他の製品にも現れている。今年後半にリリースされるメディア処理ボード「MG7000A」は、ハードウェアの Advanced TCA に準拠した製品だが、

その処理能力は 1 万 7000 MIPS と大規模ネットワークに対応できる。また、IP 網だけでなく、TDM ベースの既存ネットワークとの接続もサポートしている。まさにキャリアの利用を前提とした製品である。

NMS コミュニケーションズのアジア担当バイスプレジデント兼ジェネラルマネージャのクリッツ・チャン氏は「競争の激化にともない、世界の通信事業者はサービスの開発期間の短縮を強く求めている。Vision シリーズはこうしたニーズを十分に満たせるソリューションです。特に世界に先駆けて 3G が普及し、先進的なサービスが次々に登場している日本市場は、この製品の真価が発揮できるマーケット。大きな期待を持っています」と話している。

5月11日開催の「次世代ネットワーク&サービス Conference 2006」において Vision VoiceXML 製品の解説を行います。  
<http://www.ric.co.jp/expo/ngns2006/>



お問い合わせ先

NMS コミュニケーションズ株式会社

営業

TEL : 03-5325-5591

E-mail : sales\_jp@nmss.com

URL : <http://www.nmscommunications.co.jp>